

## 第3回保健科学研究院国際シンポジウム報告 The Third FHS International Conference: Hitch our wagon to a remedy!

国際交流専門部会 部会長 山内 太郎

2017年7月7日、保健科学研究院にて第3回国際シンポジウム(The 3rd FHS International Conference: Hitch our wagon to a remedy!)を開催いたしました。2013年、2015年を経て、保健科学研究院(Faculty of Health Sciences, FHS)が主宰する国際シンポジウムは第3回目を迎えました。参加者数は、前回の140名を大きく上回り250名余りとなりました。協定校である台湾の台北医学大学、高雄医学大学、タイのチュラロンコン大学に加えて、韓国の江原大学/極東大学、さらに国内の大学から研究者を招待しました。

講演者をご紹介します。台北医学大学からDr. Pei-Shan TsaiとDr. Horng-Mo Lee、高雄医学大学からは、Dr. Shih-Fen HsiaoとDr. Ming-Chung Chou、江原大学/極東大学からMs. Kyoungmin Lee、広島国際大学からMs. Li Cong、そして総合地球環境学研究所からDr. Hein Mallee、そして保健科学研究院からコリー紀代先生、唐明輝先生、古川貴之先生の計10名でした。看護学、臨床検査学、放射線医学、理学・作業療法学、国際保健学といった広範な保健医療分野をカバーするシンポジウムになりました。

10名の講演に加えて、第2回国際シンポジウムから恒例となった、大学院生によるポスター発表が行われました。台北医学大学、高雄医学大学、チュラロンコン大学の大学院生を含む76題のポスターが、E棟1階の

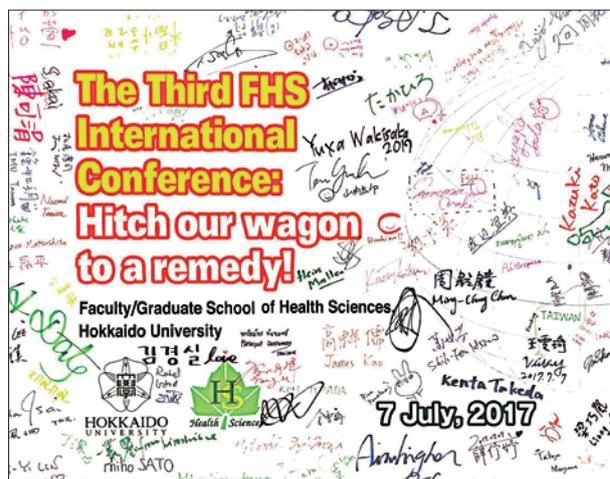
多目的室に所狭しと張り巡らされました。おなじみの一人1分間の口頭によるポスター紹介(「ショットガン・セッション」)に続いて、一斉にポスター発表が行われました。午前と午後それぞれ90分に及ぶポスターセッションは始終活気に溢れ、大学院生は懸命に英語で自らの研究を招待研究者に説明し、活発なディスカッションが行われました。大学院生が海外で開催される国際学会に参加する機会は限られており、本国際シンポジウムは大学院生にとって大変貴重な機会です。この経験を今後の研究活動に活かしてもらいたいと期待しています。

午後6時30分からは同会場にて立食パーティーが開かれ、カジュアルな雰囲気の中、国内・海外からの招待講演者、保健科学研究院の教員、大学院生が懇親しました。宴のさなか、ポスター発表の大学院生に贈られる「Best Presentation Award」の発表がありました。受賞者は金京室さん(総合健康科学D3)、長谷川純子さん(総合健康科学D2)、白澤憲典さん(生体情報科学M2)の3名でした。

末筆になりましたが、国内・海外からの招待講演者各位、座長および発表を引き受けていただいた保健科学研究院の教員の方々、当日および準備にご尽力いただいた国際交流専門部会会員および事務の方々、保健科学研究院長をはじめシンポジウムに参加いただいた教員、大学院生、学部生のみなさまに感謝申し上げます。



ポスターセッション



参加者の皆様による寄せ書き